



OSAKA JONAN
JAPAN



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創立 1969.5.30
幹事 金山信利

会長 小林正啓
会報委員長 元氏成保

Rotary



Serve to Change Lives

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度国際ロータリー会長 シェカール・メータ

R I 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2530

2022-4-22

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
<https://osakajonan-rc.org/>
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本日の例会

4月22日(第4例会)

- 場所 シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間
- 卓話 「私の趣味」
田中浩之会員
- 「酒味の会」 18:00~20:00
KKRホテル大阪 14階 オリオンの間
- 食膳 <カレー>



◆会長の時間◆

当クラブの細則改正に関し、来る6月10日(金)に臨時総会を招集する旨の理事会決議を5月6日(金)の理事会で行う予定です。理事会決議の際、総会に提案する細則改正案の最終案を提示し、これを会員の皆様にお配りしたうえ、臨時総会までにご質問やご意見を伺う機会を設けたいと思います。全面改正となりますが、最大の改正点は理事の選任方法です。具体的には、現行11名の理事を定款の定める会長、直前会長、会長エレクト、幹事、会計の5名とし、総会決議をもって6名以上に増やすとする点と、理事全員を総会で選任するとする点です。ご検討よろしくお願いします。

次週のお知らせ

4月29日(第5例会)

休会

次々週のお知らせ

5月6日(第1例会)

- 場所 シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間
- 表彰 ホームクラブ連続皆出席
- お祝 誕生日 入会記念日 会社創立記念日
- 卓話 「ローターアクトクラブ活動について」
RAC地区副幹事 中山和樹氏
(濱田由弘青少年奉仕委員長担当)
- 理事会 11:30~
シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ
- クラブフォーラム(青少年奉仕) 13:40~15:00
シェラトン都ホテル大阪 3階 金剛の間
- 食膳 <端午の節句料理>



◆幹事報告◆

○地区より5月29日(日)にホテルグランヴィア大阪で開催されますローターアクト「地区年次大会」の案内が届きましたので、濱田青少年奉仕委員長・石濱RAC担当副委員長に回付しました。

先週の記録

4月15日(第3例会)

●出席報告

出席会員33名(内免除会員6名)
会員総数46名(同上13名)
ゲスト 0名
ビジター 0名
計33名

ホームクラブ出席率84.61%
4月1日(第1例会)補正出席率100%(MU3名)

◆委員会報告◆

雑誌・広報委員会 細川直人副委員長
「ロータリーの友」2022年4月号紹介
【4月号 横組記事より】

P.14~19【アンケート:女性会員に聞きました】

1989年にロータリークラブへの女性の入会が認められてから33年。全世界の女性会員の比率は23%を越えますが、日本では7%、当地区でも8%強です。女性ロータリアンから見たロータリーはどのように映っているのでしょうか。全国の女性ロータリアン1,155人へのアンケート結果が紹介されています。

ロータリーに対するイメージ、満足度は良好ですが、性別ではなく「個」「自然体」が重要である、トンチンカンな気遣いは無用、男女の区別なく接して欲しい等、男性会員は心すべきコメントが多くあります。

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

P.39【エバンストン便り】

(1)ウクライナ情勢に関する国際ロータリーからの声明

国際ロータリーはウクライナ情勢の悪化と人命の喪失及び人道的苦難が深刻化していることを深く懸念し、悲劇的な出来事に直面している人々を救うため救援物資や支援を提供し、ウクライナに平和をもたらすために全力を尽しますとの声明を発表しました。

(2)ロータリー財団がウクライナでの人道支援の窓口を設置

ロータリー財団はウクライナへの救援活動実施のため災害支援基金を設け、ロータリー関係者からの寄付を受け付けると共に、難民や被災者支援のためのプロジェクト特別補助金の申請が出来るようになりました。

(注)現在ウクライナには62のロータリークラブ、24のローターアクトクラブがあります。

【4月号 縦組記事より】

P.4~8【命を預いてつないでいくこと】

2021年2月27日に2560地区(新潟)第5分区インターミティーミーティング(IM)での助産師・思春期保健相談士内田美智子氏の記念講演要旨です。

助産師として3,000人の赤ちゃんの出産を手掛けた内田さんは、新たに生まれる命の尊さ、その命を大切に育て次の新しい命につなぐ大切さを考え続けてきました。今の子供は昔と変わってしまったと言われますが、子供は何も変わっていません。赤ちゃんは必死に産声を上げてきて行こうと生まれ、子供達はもっと見たい、聞きたい、知りたいと希望を持って生きています。何かが変わったとすればそれは我々大人の側です。子供達に伝えるべき、残すべき大切なものを引き継ぐための大きなお世話とおせっかいは我々大人の責務です。一人一人の能力、知識を結集すれば現況は如何様にでも変えられます。命を守り育てるのは大人の使命です。未来をつないで行く子供達がもっともっと笑って、本当に生まれてきて良かった、生きていて良かったと思える社会を残したい。自分一人が何かをしたからといって物事が変わる訳がないと思わないで。死なないで、相手をいじめないで、自分を大切に、命を大切に、人に優しくと子供達に身をもって伝えて欲しい。内田さんの言葉が心に響きます。

この他にも興味深い記事が多く掲載されています。是非ご利用ください。

岡部倫正SAA

奨学生に対して、ロータリアンとして品位ある言動をお願いします。奨学生には月1度以上の例会への参加が求められています。参加された際にはゲスト扱いではなくできる業務を担当してもらってください。

卓話

4月15日〈第3例会〉

「お仏壇の修復」

泉 浩一会員



弊社子会社である京仏具製作所(株)の奈良工場で行っている仏壇・仏具の修復を紹介させて頂きます。

今回説明させて頂く修復方法ですが、金箔を使った仏壇・仏具の修復工程の流れで、弊社が一番得意としている工程です。弊社配送センターより送られてきた古い仏壇は、まず部品に分かれるまで分解し、木地が見えるまで漆や金箔をはがしていきます。そして木地の補修、下地塗り、研磨(磨き)、そして下地塗り、研磨と繰り返し行い、最後に目の細かい紙やすりで磨いた後、上塗りを行います。その後、金箔押し、飾り金具打ち、組み立てとなり完成

となります。これが一通りの仏壇・仏具修復の工程です。

上塗りの終えた部品や、箔押しの終えた部品が揃ったなら、金箔フロア隣の組み立てフロアで組み立てていきます。やはりこの組みあがる瞬間がとても楽しいですね。

最近はなかなか金仏壇も売れず、逆に今あるお仏壇の処分を依頼されることも多いです。しかし昔のお仏壇は彫刻や彩色、蒔絵が素晴らしいものばかりです。古いお仏壇ですと、仏壇外から見えないところに、当時製作された方のお名前が筆書きされています。本当に一本物で製作されていたのでしょうかね。そういうものを見ると、嬉しく修復作業をさせて頂いております。

右肩下がりの業界で、工場維持も難しいところですが、私は未永く続けてまいりたいと思いますので、どうぞご近所の泉屋へお問い合わせくださいませ。本日は誠にありがとうございました。



▲卓話スライドショー



▲委員会報告



▲にこにこ箱報告

にこにこ箱

4月15日(第3例会)

・先日の地区研修協議会とその後の懇親会にご参加頂きました。皆さま長時間有難うございました。7月が近付いて気が焦るばかりです。

三宅会員

・内藤さん、この度はお世話になりました。永井会員

・本日、卓話いたします。よろしくお願いいたします。

泉会員

・本日、息子と一緒に今話題の阪神戦を観に甲子園に行きます。今日は勝てる気がします。多分。

元氏会員

・他、お祝い 1件

(編集担当 細川・遠田)

会員増強にご協力を!!